

2021年 8 月発行

理事長あいさつ 「である」社会と「する」社会

早瀬 隆司



著名な政治学者の丸山眞男氏が「である」論理の社会と「する」論理の社会について述べておられる（「日本の思想」岩波新書）。「である社会」はある「状態」つまり動きのない「状態」を意味しているのに対して、「する」社会は動く過程を重視している。日本の「である」文化の中では、この一つの「状態」として「間違えない政府（無謬主義）」が神聖視されていると観察しておられる。今では少し変化してきたものの、そのような傾向は依然残っているようだ。そして、その「である」論理の社会を変えていこうとする動きは「秩序を破壊する行動」ととらえられがちだ。ややもすると、ネットゼロ社会にむけた気候変動対策の提案は、「何を言っているんだ、気候変動はわかったけれど、ネットゼロへの方策をきちんと説明をしなければ受け入れられない」という議論にでくわす。EU 諸国が気候変動対策に将来をかけようとしているのに、日本の政治や社会は夢や希望を語らない、あるいは「しなければいけないこと」を語っていない。できるかできないかという質問や議論に終始して、動くことなく、立ち止まってしまう。これも「である」論理の社会の必然のようである。菅総理のネットゼロ社会への公約は国民のより多くの理解がないと「である」論理の前で荊の道を歩むことになるかもしれないと危惧している。将来を担う若者たちの声を聴きたいものだ。

本年度の環境カウンセリング協会長崎は、「長崎市地球温暖化防止活動推進センター（サステナプラザながさき）」の運営団体としての立場からも、「ゼロカーボンシティー長崎へ向けての取り組み」、「海洋プラスチックごみ対策への取り組み」、「持続可能な開発のための教育活動」を中心として、一層積極的な活動を進めていきたいと考えている。

「ゼロカーボンシティー長崎」へ向けての取り組み

我々ECAN は、行政や市民のパートナーとして、これまでも地球温暖化の問題に深くかかわってきました。今年度は、サステナプラザの機能を活かしながら、以下のような活動を企画しています。

①市民連携フォーラム

気候変動対策に対する「次世代を担う若者の意見の集約」と「議会のリーダーシップ」を期待して、11月に、幅広い市民の地球温暖化対策についての主要な市民の意見交換の場を企画しています。「長崎市地球温暖化防止対策実行計画」は今見直し作業中であり、若者の意見を同計画へも反映させていきたいと考えています。

②ソーラーパネルの設置促進

長崎におけるソーラーパネルの利用状況は、依然として不十分な状況です。設置費用もかなり低減して安価になりつつあることから、一般住宅のソーラーパネル(自立型小型発電利用システム)の普及方策を進めていきます。そのため、関係者と協力して、市民の皆様の理解をより一層深めてもらうための方策等について調査検討します。

③地域の資源を利用した循環共生の地域づくり

「地域の特性を活かし、地域に賦存する資源を利活用した循環共生型の社会へ脱皮していくこと」が、地球温暖化問題や廃棄物問題に直面している我々にとっての賢い解決策です。長崎に豊富にある緑や、伝統ある農業を活かした地域づくりに協力していきます。野母崎地区では、広葉樹の熱利用による自立型エネルギーによる防災拠点や産業への利用の仕組みづくりを、また茂木地区では伝統的な枇杷産業に押し住民のエネルギーを投入して、農地の環境保全や産業の活性化を、それぞれ図っていきます。

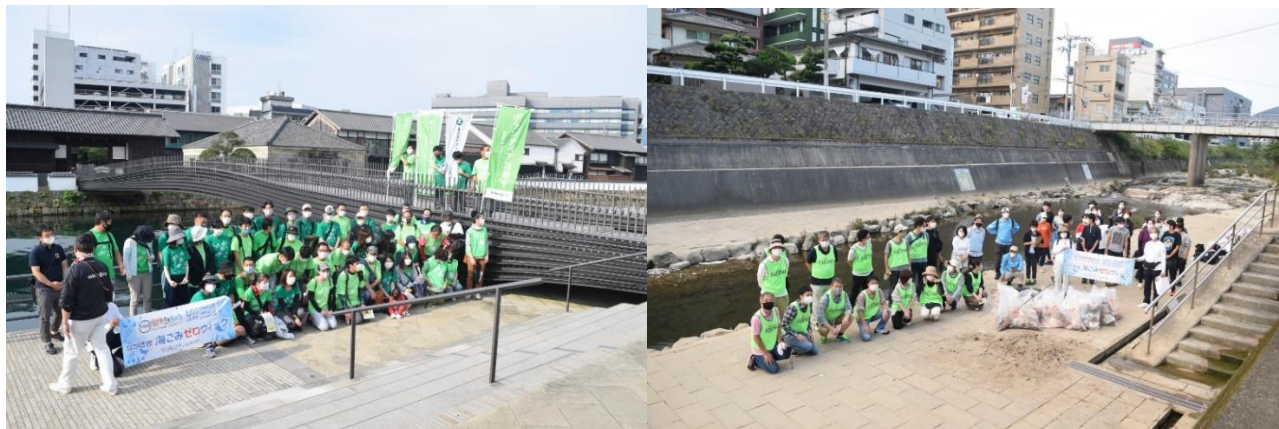
④サステナプラザながさき（長崎市地球温暖化防止活動推進センター）の運営

地球温暖化対策への市民の理解や活動を高めていくため、市民の皆様の理解をより一層深めてもらいながら長崎市では、市民や NGO 等の交流の拠点として「長崎市地球温暖化対策活動推進センター（サステナプラザながさき）」を 2016 年度に設置しました。環境カウンセリング協会長崎は、今年度からその運営を長崎市から任されることになりました。従来から独自に活動してきた我々の環境活動を、サステナプラザの機能や場を利用してより効率的に拡大していくことが可能になりました。蒲原新一理事にセンター長として活動を引っ張っていただいています。ノルマや雑務も増えますが、会員の皆様のご協力をお願いいたします。

海洋プラスチックごみ対策への取り組み

大人数での活動が制限されているため、今年も離島での海岸清掃活動やワークショップの開催は見通しが立ちません。しかし、エコライフフェスタ(10月23日、24日)に合わせた「山～川～街～海プラスチックごみの回収大作戦」(仮称)を企画中です。それぞれの地域で活動中の団体の皆様の協力で、山、街、川、海で市民の方のご参加をお願いして清掃活動を実施します。詳細は今企画中です。

また、長崎県では、今年度プラスチックごみ啓発事業を企画しておられ、環境カウンセリング協会は、必要に応じて協力していく方針です。



昨年の清掃活動の様子（2020年10月3日） 左は出島表門橋で、右は浦上川大橋付近で

持続可能な開発のための次世代教育活動

環境カウンセリング協会では、「持続可能な開発のための教育」活動を県内では他に先駆けて取り組んできました。なかでも地域の環境活動の専門家に協力していただき、高城台小学校のこども達を対象とした活動は、5年以上も続けられてきました。今年度も、高城台小学校の先生方と力を合わせて実施する計画です。

また、日本社会は、経済的な格差が進み、従来の相互扶助的な仕組みも形骸化しつつあり、その中で放置されかねないこども達が増えていることが懸念されています。このような格差は、こども達が学び自立する機会を損ねる要因となりかねず、貧困の連鎖を生み出していくことにつながります。環境カウンセリング協会は、このようなこども達の課題にも取り組んで行くこととし、「オランダ坂こども食堂」に積極的に関わっています。現在毎月第4土曜日にこども達に食を提供していますが、さらに学びの支援にも取り組んでくこととしています。

ともに学ぶ、意見を交わす

会員、そして一般の市民を対象として情報提供と意見交換を通した学びの場を開催しています。「2070年のNAGASAKIを想う会」は、原則として毎月第3水曜日の18時30分から開催します。8月18日は、熊本県立大学の石橋康弘教授から有機性廃棄物の利活用について、また、9月15日（場所は、サステナプラザながさき）は、長崎大学の吉田護准教授から防災についてお話を聞いて学ぶ機会を持ちたいと思います。

ECAN 事務局に新しい力 太田恭子さん

環境カウンセリング協会長崎の事務局に新しい力が加わりました。これまで会計事務などについて、会員の古川哲夫さんにお手伝いしていただいていたのですが、6月から太田恭子さんが事務局に加わりました。太田さんは、五島町の事務室には、毎週月曜日に勤めてくださいますが、火曜日から金曜日までは、万才町のサステナプラザながさきで勤務してくださいます。明るい性格のかたで、いろんなことに前向きに関わってくださっています。早速積年の垢がたまっていた環境カウンセリング協会の会議室の大掃除をしてくださって、軽トラ2杯分に余る不用品を処理してくださいました。力持ちです。よろしくお願いします。



サステナプラザながさきの
マスコットキャラクター
「サステなっちゃん」と

はじめまして。太田と申します。
このたび、縁あって皆様と一緒に働かせていただくことになりました。
色々と至らない点があるかもしれませんが、宜しくご指導くださいますようお願いいたします。

令和3年度会費納入のお願い

会費・寄付募集中！環境についてともに考え活動しませんか？

環境カウンセリング協会長崎は、事業者、学術機関及び行政のパートナーシップの形成を図り、それぞれの環境への取り組みを支援することを目的に設立されました。環境に配慮した社会を根付かせ、人と自然が共に生きる心豊かな長崎を次世代に引き継いでいくために、企業、団体、学術機関、行政そして市民としてそれぞれの立場からのご支援とご協力をお願いいたします。

会員の種類	入会金	年会費
個人会員	1,000円	3,000円
学生会員		1,000円
企業会員		10,000円
団体会員		30,000円
賛助会員		一口5,000円以上

振込先

特定非営利活動法人
環境カウンセリング協会長崎
十八親和銀行 県庁支店
普通預金 0051154

ECANつうしん No.13 (2021年8月)

発行：NPO法人環境カウンセリング協会長崎
住所：長崎市五島町3-3 プレジデント長崎206号
E-mail：jimu@npo-ecan.org
URL：http://www.npo-ecan.org/

TEL：095-818-3305
FAX：095-826-3693

編集 早瀬・太田